

2021 年度特定機能病院監査報告書

－慶應義塾大学病院－

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 2021 年度の慶應義塾大学病院（特定機能病院）監査委員会（以下「監査委員会」という）における監査結果を以下のとおり作成したので報告する。

1. 監査の概要（方法及びその内容）

医療法施行規則第 15 条の 4 の 2 に規定される監査委員会として、慶應義塾が設置する監査委員会において管理者等からの報告に基づき、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染制御部門等の業務を監査した。監査対象となる責任者、部門、委員会については、業務の執行状況等について 2022 年 8 月 1 日に開催した監査委員会において、当該担当者等から資料の提出及びに報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

《監査項目》

- 1) 医療安全管理部門について
- 2) 医療安全管理委員会について
- 3) 医薬品の安全管理について
- 4) 医療機器の安全管理について
- 5) 医療放射線安全管理について
- 6) 感染制御部門について
- 7) その他必要と思われる事項

2. 監査結果

監査委員会において、2021 年度における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染対策運営委員会等の業務の状況等について審議した結果、医療に係る安全管理が適切に実施されていることを確認した。

3. その他意見、提案事項等

- ・インシデント・アクシデント報告の中で、課題となっていた研修医の報告数が改善され、全体の 20%が医師の報告というのは高くて好ましい数値

だが、上級医からの報告数がさらに増加するよう取り組んでいただきたい。

- 院内ラウンドでのラピットレスポンスチームの様々な取組状況について確認したが、対応件数について次回報告いただきたい。また、院内ラウンドを行う中で、周知状況を確認するための質問の仕方や方法についても検討いただきたい。
- インフォームド・コンセントの同席率が上がっているのは良い。面会制限がある状況ではあるがグレード3の同席率が72%はまだ低い数値である。また、医師から患者が説明を受け、患者から同意を得るまでの検討時間が十分とれるよう検討いただきたい。
- 病棟薬剤師と看護師との相互のコミュニケーションをさらに深め、病棟薬剤師の存在意義がより一層上がり、病棟全体のレベルが上がるよう検討いただきたい。
- 医師の被ばく軽減や、患者さんへの被ばく説明文書がより一層わかりやすくなるよう検討いただきたい。
- 手指衛生遵守率が前回より下がり70%は低い数値である。手指衛生遵守率90%になるよう取り組んでいただきたい。

慶應義塾大学病院特定機能病院監査委員会

2022年9月27日

委員長	山口	徹
委員	市村	尚子
委員	中谷	比呂樹
委員	宮沢	忠彦
委員	山口	育子